



道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 680

令和8年7月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話 03-3501-5611(代)
発行人 小林 勉
定価 20 円(会員の購読料は会費に含む)

8月10日は「道の日」

第3次無電柱化推進計画 推進目標における重点対象のポイント

防災・強靱化

1. 激甚化・頻発化する災害に備え、道路啓開の実効性を早期に高める無電柱化

- 能登半島地震において電柱約3,480本が倒壊・損傷し、道路啓開に支障が生じたことなどを踏まえ、防災分野における無電柱化を一層強化します。

主な取組

- 道路啓開の実効性を高める観点から、高速道路ICから防災上の主要拠点を結ぶ緊急輸送道路等を、新たに**優先整備区間として選定**し、重点的に整備
- 効果の早期発揮を図るため、工事着手率に代えて**整備完了率を新たな計画目標**として設定
- 切迫する巨大地震に備え、**今後30年程度の中長期目標を設定**
- 早期に道路閉塞リスクを取り除くため、事業中区間については、原則として**既設電柱の占用制限**を指定

計画目標値(R12年度)

優先整備区間 計画策定率 68%→概ね完了 **整備完了率 31%→41%**

市街地の第一次緊急輸送道路 計画策定率 70%→概ね完了 **整備完了率 55%→61%**

《中長期目標》

- **今後30年程度**で、優先整備区間および市街地の第一次緊急輸送道路の**無電柱化の概成**を図る

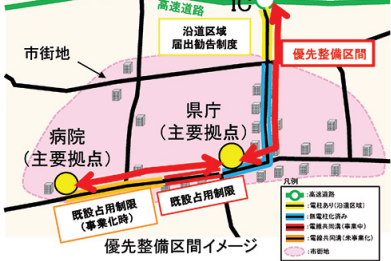
能登半島地震(R6.1)



牧之原市の竜巻(R7.9)



台風15号(R1.9)



第3次無電柱化推進計画 推進目標における重点対象のポイント

安全・円滑

2. 通学路の安全対策と一体として事故リスクを着実に低減する無電柱化

- 通学路*の7割に電柱が存在し、**電柱を避けるために児童が車道にはみ出して通学**している実態を踏まえ、通学路における面的な安全対策と一体となって無電柱化し、事故リスクを着実に低減します。

主な取組

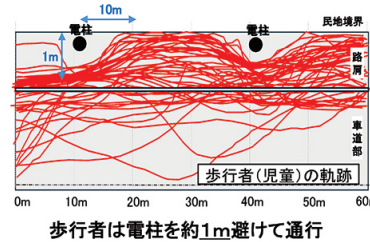
- バリアフリーの特定道路に加えて、**「ゾーン30プラス」内の通学路を対象に新たに計画目標値を設定**
- 緊急輸送道路を中心に進めてきた**新設電柱の占用制限**について、**バリアフリー特定道路、通学路にも拡大**
(参考) 緊急輸送道路の新設電柱の占用制限指定率: 100%
無電柱化を促進 占用制限を指定(禁止)
- 狭隘な道路での無電柱化を推進するため、**側溝配線や屋側配線など、地域や現場の実情に応じた多様な整備手法を活用し、ピンポイントでの電柱撤去も含めて無電柱化を推進**

計画目標値(R12年度)

バリアフリー特定道路 計画策定率 50%→57%

ゾーン30プラスの通学路 計画策定地区数 5地区→55地区

※ゾーン30プラス内の通学路



第3次無電柱化推進計画 推進目標における重点対象のポイント

景観・観光

3. 地域全体で切れ目のない景観を創出する無電柱化

- **全国8割以上の市町村において無電柱化推進計画が未策定**であり、良好な景観形成に向けた面的な取り組みが進んでいないことを踏まえ、道路管理者と景観・観光部局等との連携を強化します。

主な取組

- **市町村における無電柱化推進計画の策定**を働きかけ
- 景観計画や観光振興計画等と無電柱化推進計画を一体的に策定するなど、**道路管理者と景観・観光部局等との連携**を強化
- 地域の実情に応じて、側溝配線や屋側配線など**多様な整備手法を活用**

〔観光地へ向かう道路は無電柱化されているが、手前側で左右に伸びる道路の電柱・電線により、景観の連続性が失われている。〕



関係者の連携が図られていない事例(イメージ)

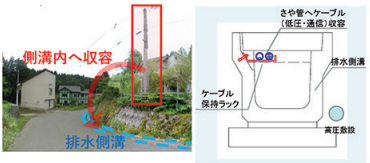
無電柱化済区間(観光地へ向かう道路)
無電柱化未整備区間(手前側で左右に伸びる道路)

計画目標値(R12年度)

世界文化遺産周辺 計画策定率 49地区→58地区(56%)

重要伝統的建造物群保存地区 計画策定率 69地区→80地区(62%)

歴史まちづくり計画の重点区域 計画策定率 67区域→79区域(56%)



地域の景観と調和した無電柱化の工夫

https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/chicicyuka/chi_21.html

“道路総合システムサービス”企業

NICHIREKI

ニチレキ株式会社

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL 03(3265)1511代表

※「富士モータースポーツ フォレスト」
富士モータースポーツ フォレストは、国際サーキット「富士スピードウェイ」を中心とした、モータースポーツやさまざまなモビリティ体験を楽しめる複合施設である。富士モータースポーツフォレスト株式会社、富士スピードウェイ株式会社、トヨタ不動産株式会社が連携し、「モビリティ体験の聖地」を目指して着実に発展を続けている。

国土交通省は、激甚化・頻発化する災害や、児童の安全確保等に、より一層対応するため、令和8年6月2日に、令和8年度を初年度とする「第3次無電柱化推進計画※」を決定した。
※無電柱化の推進に関する法律第7条の規定に基づき国土交通大臣決定の計画【計画目標】
無電柱化の効果も早期に発揮させるため、今後5年間で、新たに整備完了を延長約1,000kmの目標を設定し、併せて約4,000kmの計画を策定する。
【計画の3つのポイント】
①道路啓開の実効性の早期確保
災害時の道路啓開の実効性を向上させるため、新たに高速道路ICと県庁等を結ぶ区間を優先整備区間として選定し、重点整備を進める。
②児童の事故リスクの着実な低減
児童の安全確保の観点から、通学路の多くに電柱が存在し、児童が車道にはみ出して通行している実態を踏まえ、新たに通学路を無電柱化の対象とした目標値を設定する。
③地域全体で切れ目のない景観の創出
観光地等で面的な無電柱化を図るため、市町村における計画策定と景観・観光部局等との連携を強化する。

5年間で1,000kmの整備完了を目指す

「第3次無電柱化推進計画」を決定

NEXCO中日本とトヨタ不動産が連携して 小山PA(仮称)(上り)を整備

地域やモータースポーツの発信拠点となるPAを目指す

NEXCO中日本とトヨタ不動産株式会社が、建設中の新東名高速道路(新東名)新設野IC・新御殿場IC間に位置する「小山PA(仮称)(上り)」の運営を連携して行い、快適でくつろげる空間を提供するとともに、魅力向上によって立ち寄りやすい、小山地域やモータースポーツの発信拠点となることを目指している。
NEXCO中日本が建設を進めている小山PA(仮称)(上り)は、新御殿場ICから東に約4kmに位置し、同じく建設中の新野丹沢SAとともに、当該区間の利用者に、快適に休憩できる施設の検討を進めていた。一方、トヨタ不動産株式会社は、建設中の新東名高速道路(新東名)新設野IC・新御殿場IC間に位置する「小山PA(仮称)(上り)」の運営を連携して行い、快適でくつろげる空間を提供するとともに、魅力向上によって立ち寄りやすい、小山地域やモータースポーツの発信拠点となることを目指している。
NEXCO中日本が建設を進めている小山PA(仮称)(上り)は、新御殿場ICから東に約4kmに位置し、同じく建設中の新野丹沢SAとともに、当該区間の利用者に、快適に休憩できる施設の検討を進めていた。一方、トヨタ不動産株式会社は、建設中の新東名高速道路(新東名)新設野IC・新御殿場IC間に位置する「小山PA(仮称)(上り)」の運営を連携して行い、快適でくつろげる空間を提供するとともに、魅力向上によって立ち寄りやすい、小山地域やモータースポーツの発信拠点となることを目指している。



小山PA位置図

は連携して小山PAの運営を行うこととした。小山PAにおいて、NEXCO中日本はエリア全体の運営管理とともに、主にクイックニーズに対応した軽飲食や物販などの施設を整備し、トヨタ不動産は、飲食施設に加え、富士モータースポーツフォレストの魅力で多彩なサービスを提供し、地域の活性化を図っていくとしている。

なお、店舗の詳細な情報や開業の時期についてはあらためて公表するとしている。

令和8年度「道路ふれあい月間」推進標語

「続け未来に 地域の道路は たからもの」